

# 学校図書館だより



平成29年10月24日  
横浜市立森の台小学校  
校長 酒井 浩明  
図書主任 清水あゆみ  
学校司書 近江弥穂子

No. 6

運動会当日、お天気には恵まれませんでしたが、子ども達は全力で練習に取り組んできました。各学年、演技に磨きをかけてきたと思います。その反面、準備や練習で忙しく、落ち着いて本を読めなかった児童もいたと思います。

いつの間にか「読書の秋」となりました。「心に栄養」の秋です。子どもたちがたくさんの本に親しみ、心豊かに成長してほしいと願っています。読書月間も始まります。読書月間には、図書委員会や図書ボランティアさん、おはなしポケットさん、学校司書による様々な企画があります。多くの児童が読書を楽しむ秋になってくれると嬉しいです。

## 学校図書館からのお知らせ

● 11月は読書月間です。次のイベントが開催されます。

◇各クラス：読書の木

◇図書委員会：劇とビブリオバトル(読書集会にて)・オリエンテーリング・おはなし列車をつくろう！

◇おはなしポケットさん：『わたしの大好きな本』の読み聞かせ

◇図書ボランティアさん：図書館クイズ クイズに答えてプレゼントをもらおう！

100枚ほど、横浜市立緑図書館に展示されます

## 先生のおすすめ本

新井先生(3-1)  
『ぼくの先生は東京湾』  
中村征夫 写真・文

最賀先生(3-2)  
『三国志』  
羅貫中 原著

塚原先生(3-3)  
『しゅくだいとびばこ』  
福田岩緒 作

小原先生(3-4)  
『卵の緒』  
瀬尾まいこ 作

学校図書館に  
あります

学校図書館に  
あります

38年間、東京湾に潜り、撮り続けられた写真で、東京湾の生き物や自然の再生する力を教えてください。

いろいろな人の名前が出てきて、関係がわからなくなるかも！でも、作戦が興味深い！！

やっと4段のとびばこがとべるようになったけど、3週間後の運動会で6段のとびばこを3年生全員でとぶ競技がある。ぼくだけとべなかったらどうしよう…

「僕は捨て子だ。」  
ではじまるこの物語は、本当の親子以上の愛を感じられる一冊です。筆者は中学校の国語の先生で、とても読みやすい文章です。

# トピックス ～足利義政（あしかがよしまさ）～

足利義政は、室町幕府の第8代将軍です。父である6代将軍、義教が嘉吉の乱で赤松満祐に暗殺され、その後を継いだ兄の義勝も早くに亡くなったため、義政はわずか8歳で将軍職に選出されます。当時は有力な守護大名が幕府の政治を左右し、もはや将軍が政治の主導権をにぎることはむずかしい状況にありました。義政は政治への情熱を失うなかで、代わりに文化的な方面へ興味を移していきます。義政は、早々に将軍の座を退いて隠居しようと考えましたが、正妻である日野富子との間に後継ぎがいなかったため、実の弟の義視を養子とし次期将軍候補としました。ところが、その翌年に富子に男の子（後の足利義尚）が誕生し、足利将軍家の家督争いがおこります。富子は義尚が将軍の後を継ぐことを望み、政権の実力者であった山名宗全に協力を頼みますが、一方で、義視は管領の細川勝元の後ろだてを得て対抗します。これに、幕府管領家の畠山氏、斯波氏の家督争いも加わり、全国的な争いとなって広がっていきます。世にいう応仁の乱です。応仁の乱以降、日本は戦国時代という長い争乱の時代を迎えます。政治家としては見るべきものなかった義政ですが、文化面では大きな功績を残しています。京都東山の地に東山山荘（後に慈照寺となり、銀閣、東求堂が現在に残る）を築き、庭師の善阿弥、狩野派の狩野正信、土佐派の土佐光信、能楽者の音阿弥など、当時の芸術家の支援者となります。この時代の文化は、金閣に代表される義満時代の華やかな北山文化に対し、銀閣に代表されるわび・さびに重きをおいた「東山文化」と呼ばれています。

## 今月のおすすめの本

「世界一の

パティシエになる」

カリナ・ルアール 文

「聖の青春」

大崎善生 著

「どうぶつ園の

じゅうい2」

植田美弥 監修

「どうやったら世界一になれるだろう？」って、考えたことがありますか？辻口さんの場合、スタートはケーキ屋さんに住みこんでの修行でした。そこからどうやって辻口さんは世界一のパティシエになったのでしょうか？！

元気いっぱい聖が難しい病気だとわかったのは5歳の時。病院のベッドの上で過ごすしかなかった聖はそこで将棋に出合います。難病と闘いながら、将棋の名人という夢をおいかける聖の本当にあったお話です。

この本に出てくる動物はすべてズーラシアの動物たちです。群れで子育てするミーアキャットや、オカピ、エランド、ドゥクラングルなど動物の赤ちゃんを守る獣医のお仕事が変わりやすく載っています。

## 編集後記

みなさんは「はまっ子読書ノート」のおすすめの本300冊を、何冊読みましたか？ここですすすめられている本は、横浜の子ども達に読ませたいものとして選ばれた本です。是非、小学校6年間の間に300冊読破を目指してもらいたいと思います。11月の第一金曜日は「はまっ子読書の日」なので、この機会に「はまっ子読書ノート」おすすめの本をどれくらい読んだかなと振り返ってもらえたら嬉しいです。

みなさんは、本を楽しみながら読むこともあれば、必要な情報を得る手段として読む場合もあるかと思いますが、この読書を通じて、言葉を使う力、想像力、集中力などが養われていきます。11月は読書月間です。じっくり本を読んで、いろいろな感動や、たくさんの知らないことに出合ってくれるとうれしいなと思います。

学校司書 近江